

文教委員会情報連絡

令和6年11月14日

情報連絡事項

頁

(教育指導部)

(1) 「不登校の子をもつ保護者のための講演会・交流会」第3回目の実施結果について… 2

(学校運営部)

(2) 令和7年「二十歳の集い」の開催について…………… 4

(3) 風のデザインコンクールの実施について…………… 6

(4) 学校運営協議会会長意見交換会について…………… 7

(5) 開かれた学校づくり協議会会長研修会・意見交換会について…………… 8

【参考】《子ども・子育て支援対策調査特別委員会報告事項》

※ 資料は、子ども・子育て支援対策調査特別委員会（教育委員会）の報告資料にあり

(1) 国によるこども誰でも通園制度の概要について

(教 育 委 員 会)

文教委員会情報連絡一覧表

件 名	内 容	日時及び場所	P R の方法
1 「不登校の子をもつ保護者のための講演会・交流会」第3回目の実施結果について 所管課 【教育相談課】	不登校の子をもつ保護者同士の語り合いの機会をさらに充実させるため、「不登校の子をもつ保護者のための講演会・交流会」を開催している。 ついては、第3回目の実施結果を情報提供する。 1 目的、対象者等 (1) 目的 不登校児童・生徒に対する保護者の理解を深め、保護者同士の交流を図る。 (2) 対象者 不登校の子をもつ保護者 主に、小・中学生の保護者 (高校生の保護者も参加可) (3) 定員 100人程度（オンライン受講者を含む。会場での参加者は50人まで） ※ 講演会のみオンライン受講可 2 第3回目の実施結果について (1) 参加人数 ア 講演会 合計58人 【内訳】会場 32人 オンライン26人 イ 交流会 合計21人 各グループの進行役として東京みらい中学校の養護教諭、SC、SSWも参加 (2) 内容 ア 講演会 (ア) 講師：伊藤 亜矢子氏 (学習院大学教授、臨床心理士) (イ) 講演：不登校の子どもの気持ちに気がつくヒント	【第3回目】 (1) 実施日時 令和6年10月 27日（日） 13時30分～ 16時20分 (2) 会場： 東京みらい中学校 4階	

	～進路について考える編～ イ 保護者交流会 (3) 参加者の主な意見 ア 進路についてまずは親が情報収集しておき、子どもの気持ち为上向くタイミングを待つことが大事との話に、今は我慢の時期なんだと改めて思った。もっと情報収集を頑張ろうと思う。 イ 親自身も学校行事等に参加することもなく情報が不足していたので、今回情報収集したいと思い、初めて参加した。収集したものを子どもに提供するタイミングも重要と知り、目から鱗だった。 ウ 講演会では、不登校の特に初期段階の対応方法について、いろいろな具体例を教えてもらえると良かった。 エ 少人数での交流会は話やすく、気持ちの共感や、塾などの情報共有ができた。話すことで心が軽くなった。 3 今後の方針 今回が三幸学園との初めての共同開催であった。来年度の開催方法等について、三幸学園担当者と協議を進めていく。		
--	--	--	--

文 教 委 員 会 情 報 連 絡

令和6年11月14日

件 名	令和7年「二十歳の集い」の開催について
所管部課名	学校運営部青少年課
内 容	令和7年「二十歳の集い」の開催予定について、以下のとおり報告する。 1 開催日時 令和7年1月13日（月・祝） 11時00分～12時30分 2 会場 東京武道館 大武道場 3 参加対象者 平成16年4月2日～平成17年4月1日生まれの方 （令和6年10月1日現在 区内在住者6, 127人） ※ 区外在住者も参加可 4 実施内容（予定） （1）第一部 式典 ア 国歌斉唱 イ 励ましの言葉（足立区長） ウ お祝いの言葉（足立区議会議長） エ 誓いの言葉（「二十歳の集い」実行委員代表） オ 区歌斉唱 （2）第二部 アトラクション 内容は「二十歳の集い」実行委員会で検討中である。 5 主催 足立区、足立区教育委員会 6 令和7年「二十歳の集い」実行委員会 男性11名、女性5名の計16名で構成 7 その他 会場開催のほか、前回に引き続き「動画 de あだち」によるライブ配信も実施する。

【参考】当日参加者数の経年推移

開催年	直近の 対象者 (人)	当日参加者（人）			ライブ配信視聴数	
		総数 【参加率】	内訳		最大同時視聴 (人)	再生数 (回)
2	6,444	3,561 【55.26%】	—		—	—
3	6,521	3,399（※） 【52.12%】	—		782	7,172
4	6,247	3,156 【50.52%】	午前	1,633	421	2,268
			午後	1,523	327	2,053
5	6,224	2,924 【46.97%】	午前	1,564	331	1,239
			午後	1,360	254	897
6	6,205	3,520 【56.72%】	—		565	2,537

※ 令和3年は会場開催中止のため、「記念品郵送数」を参加者数とした。

文 教 委 員 会 情 報 連 絡 一 覧 表

件 名	内 容	日時及び場所	P R の方法
3 風のデザインコンクールの実施について 所管課 【青少年課】	第25回足立風まつりが雨天により中止となったことに伴い、「風のデザインコンクール」を以下のとおり実施予定であるため報告する。 1 実施スケジュール (1) 応募期間 令和6年10月15日（火） ～10月28日（月） (2) 応募方法 ① HPよりオンライン申請 ② 青少年課での窓口申請 2 授賞式について 足立風まつり当日に予定していた13賞にInstagram賞を加え、計14賞の授賞式を後日実施する。 ※ 授賞式の出席者は受賞者とその保護者及び各賞の表彰者とし、来賓の招待はしない予定。 3 その他 (1) アトリウム展示について 令和6年10月14日（月）から10月20日（日）まで展示を予定していた受賞風のアトリウム展示は、風まつりの雨天中止により併せて中止とした。 ※ デザインコンクール受賞風の展示は、実施可否を含め実行委員会で調整中。	【授賞式日時】 令和6年 12月1日（日） 10時30分開始 【実施場所】 西新井住区センター	

4 学校運営協議会会長意見交換会について 所管課 【青少年課】	学校運営協議会（以下「学運協」という。）の会長等を対象とした意見交換会を以下のとおり実施する。 ※ 学運協とは 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第76条の5に基づき、教育委員会に任命された委員が「学校の運営方針への承認」など、一定の権限を有する合議制の機関で、区では開かれた学校づくり協議会の役員会的な位置づけとしての設置を進めている。 1 目的 （1）学運協同士が交流することで学運協の活性化を図る。 （2）開かれた学校づくり協議会（以下「開協」という。）会長研修会・意見交換会などにおいて、本意見交換会で出た事例を広く共有し、学運協設置（CS化）の機運醸成へとつなげる。 2 参加者 各学運協から2名以内（会長及び役員等1名） 3 内容 （1）教育長挨拶 （2）会議内容 ア 各会長より自己紹介及び各校のCSについて紹介【全体】 （ア）会議の進め方について（学運協と開協の関係など） （イ）CSの良さについて（メリットなど） （ウ）意見表明権（運営・教員	1 日時 令和6年 12月2日 （月） 18時～ 19時30分 2 場所 庁舎ホール	
--	--	--	--

	任用)の活用状況について イ グループでの意見交換【グループごと】 (ア) 小学校(8校)中学校(5校)の2グループに分かれて、CS運営について意見交換する。 (イ)「CSの良さ(メリットなど)」について内容を検討する。 ※ CSの良さや活動内容について、【開協会長研修会・意見交換会】で話していただく (3) 各グループ代表者から感想発表 (4) アンケート ア CSの運営状況について事前アンケートを依頼 イ 事後アンケートを実施		
5 開かれた学校づくり協議会会長研修会・意見交換会について 所管課 【青少年課】	開協の会長を対象とした事業を以下のとおり実施する。 1 目的 (1) 講師を招き、開協活動を学ぶ機会を提供する。 (2) 開協同士が交流することで開協活動の活性化を図るとともに、学運協の良さを学ぶ。 2 参加者 各開協会長 最大100名 3 内容 (1) 教育長挨拶 (2) 第1部 会長研修会 ア テーマ 「アフターコロナにおける協議会活動について」	1 日時 令和7年 2月7日 (金) 18時～ 20時 2 場所 庁舎ホール	

	イ 講師 潮田 邦夫（うしおだ く にお）氏 東京都地域学校協働活動推 進員/江東区統括コーディネー ター/江東区三砂中支援の会会 長/元 NTT ドコモ常務取締役法 人営業本部長		
	（３）第２部 会長意見交換会 ア 意見交換をスムーズに行う ため、以下のテーマを設定 し、事前に資料の作成を依頼 する。 （ア）開協組織・運営 （イ）特に力を入れている開協 活動 （ウ）開協活動で困っている こと （エ）学運協の設置について イ 最大１００名の会長を１０ のグループに分け、各グルー プに司会進行役としてＣＳ校 の会長を配置する。 ウ 設定したテーマについて、 各グループで意見交換を行っ ていただく。 （４）各グループ感想発表 （５）学校運営部長挨拶 （６）事後アンケート		